



# 新緑小だより

電話 (011) 764-4452

FAX (011) 764-1732

令和元年 9月27日(金) 第7号

## 「通知表」の見方・「通知表」はミカタ

教務主任 久光 朝子

4月に入学・進学し、新学期をスタートさせてから半年、子どもたちはたくさんの経験をしてきました。学習、係や当番活動、大きな行事、読書や遊び…その全てのことが、子どもたちを少しずつ成長させています。「できなかったことができるようになる。」ことは、とても素晴らしい成長ですがそれだけではありません。「苦手なことに挑戦した。」「自分で考えてやってみた。」「分からないことを伝えられた。」など、今までの自分と比べて少しでも良いと思えることが成長なのではないかと思えます。

さて、本日、前期通知表をお子さんに手渡しました。通知表には、前期のお子さんの成長や頑張りを記しています。通知表を見たとき、お子さんや保護者の方は「『よくできる』に○が何個ついているか。」「去年より、○が何個増えたか。」が気になるところでしょう。この見方は、どれだけ学習内容が理解できたかを知る上で必要なことで、分かりやすい情報なので関心が向くのは当然のことなのですが、今回は通知表を開く前に（開いた後でも）ぜひ通知表の裏にある「通知表『はぐくみ』の見方」に目を通していただければと思います。

その一部です。

### 【学習のようす】

各教科で身に付けさせたい学習内容が、どの程度身に付いているかを評価し、記録しています。各教科の学習内容を「関心・意欲・態度」「思考・表現」「技能」「知識・理解」などの観点に分け、それぞれの目標に対するお子さんの達成状況を3段階で示しています。

- ・よくできる…目標を十分に達成しています。
- ・できる…目標をほぼ達成しています。
- ・もうすこし…目標を達成するための努力がもうすこし必要です。

「できる」がついていれば目標に達している状況、「十分に達成」は達成状況がより顕著に優れており、恒常的な状況を言います。

評価は3段階で、「よくできる」は目標を「十分に達成」している状況です。明らかに際だって良いということです。1つでも付いていたらすごいことです。「もうすこし」は目標に達していない状況です。学校としても手立てを考え、目標達成に向けて一緒に努力していく必要があります。

「できる」がついていれば目標に達している状況です。だから、「『よくできる』ではないからがっかり…」とならなくてよいのです。ただし気を付けておきたいのは、「ほぼ達成」しているという状況についてです。「できる」は「よくできる」と「もうすこし」の間です。ですから「『よくできる』まであと一歩！」という場合も、「『もうすこし』にかなり近い…後期、頑張らなければ！」という場合もあるのです。すぐにながかりしたり喜んだりせず、よく振り返ってこれからの学習の励みにしていただければと思います。

子どもの中には（大人の中にもいますが）、自分のことを褒めたり認めたりするのが苦手と思っている子もいます。ぜひ、通知表をお子さんの“味方”として、前期のお子さんの成長を親子で確かめ合ってください。

〇〇ができるようになりたいんだね。方法をいっしょに考えよう！

去年よりも自分でできることが増えたね。すごいね！後期はどんなことを頑張れるかな。

進んで〇〇をしたことがわかったよ。うれしいな。

学校で〇〇を頑張ったんだね。感心したよ！



